

学校法人愛知学院

愛知学院大学日進キャンパス／愛知県日進市

学びは、無限に広がる「知」の扉を開く鍵。新たな世界、新たな自分との出会いをつなぎます。

そのフィールドが多岐にわたる愛知学院大学は、中部地区有数のスケールを誇る総合大学です。

10学部16学科と短期大学部で専門教育を展開し、高度な学修の先で一人ひとりの可能性を拓きます。

こうした教育理念を貫き、学生の自発的な修学や挑戦を促して、社会に広く貢献できる力を培います。



外観

補助事業の概要

- 導入設備：停電対応型CGS 450kW×2台
- 共同申請者：三菱HCキャピタル株式会社、東邦ガスエンジニアリング株式会社
- 導入方式：エネルギーサービス方式
- 補助金額：148,699千円(補助率1/2)
- 災害時の設備用途：[発電] スポーツセンター(ダンススタジオ、アリーナ、フィットネススタジオ等) 体育館(球技場、柔道場等)

対象施設	避難所面積	供給方式
避難所	5,777㎡	中圧

事業者様の声

補助金を用いた設備導入の経緯と効果

学校法人愛知学院 施設部 施設設備課 山本 祐治 様

CGS更新時期が来ていた中、ガス会社から補助金を活用した提案を受け、非常用発電機を設備していないキャンパスに災害時対応電源を確保でき、BCP対策に繋がる事が想定できました。ガス会社から提案を前年度からいただいていたので、事前準備ができ、補助金を活用することができました。

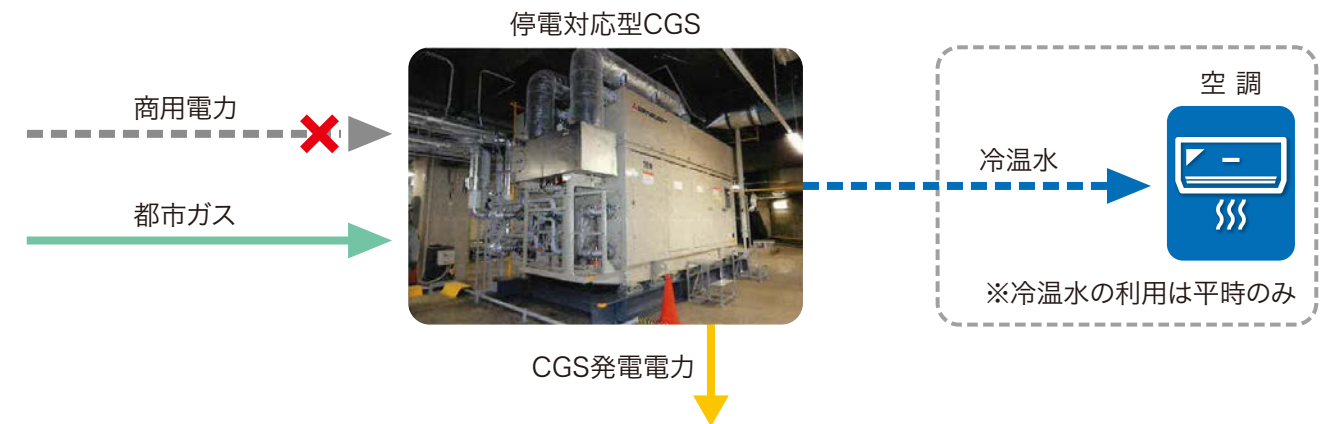
機器導入前に協定自体は締結していましたが、停電時にコンセントや照明が使えるようになる事で、より強化した災害対策ができるようになり、既協定先にも本件を情報共有しました。

本学他キャンパスで停電対応型ガス設備を導入しており、次期導入の検討は行っていました。補助金で導入コストが抑えられたことが後押しとなり、停電対応型の設備の導入を決定しました。

災害時に使用できるエネルギーは限られており、電気を中心に考えていましたが、ガス会社からの丁寧な説明によりガス配管の信頼性向上、災害時でも使用できた実績等の裏付けがとれたことで、都市ガス設備に対する災害時の信頼性の評価は上がったと感じています。

災害時にも貢献する施設の役割とエネルギーシステム

停電時の設備活用イメージ

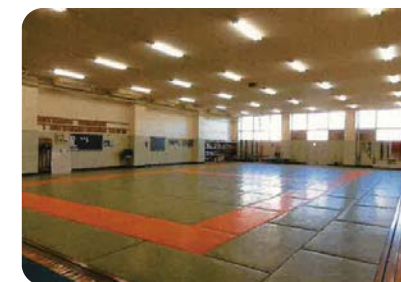


避難スペース(一例)



など

災害時にも避難所等で活用可能な設備等



照明(柔道場)



照明(フィットネススタジオ)



コンセント

協定概要

日進市とは「地域防災及び災害発生時の相互協力に関する覚書」を締結(令和3年3月)。市内において災害が発生、又は発生するおそれがある場合において市の協力要請に基づき、敷地及び施設を避難所として利用すること等を定めています。補助対象設備がある避難所スペースでは、停電時でも照明やコンセントが継続利用できる計画となっています。